

1. 科目名 (単位数)	社会福祉法特論 (2単位)	池袋・名古屋	3. 科目番号	SSMP5315
2. 授業担当教員	(池袋) 尹 文九 (名古屋) 佐々木 貴雄			
4. 授業形態	講義		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	社会保障や社会福祉の制度に関する科目		履修形態 (通信教育)	R
7. 講義概要	社会福祉を含めた社会保障制度は、法律に基づき実施されている。そのため、制度の理解のためにも法律の成り立ちや規定内容について理解することは大変重要である。制度の内容の詳細については、社会保障特論や各社会福祉分野の科目に委ね、本科目では様々な切り口から、社会保障法全体の包括的、横断的な議論を行いたい。			
8. 学習目標	1. 社会福祉を含めた社会保障に関連する法律がどのような考え方で作られているか、具体的な各制度の根拠法を例に説明できるようにすること。 2. 社会福祉を含めた社会保障制度の対象者、給付単位などの論点について、各法律に規定されている内容を基に検討できるようにすること。 3. 社会保障制度の今後の在り方について、検討する基礎を得ること。			
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	シラバス「14 学習の展開及び内容」の各【学習の課題】欄を参照されたい。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】久塚純一『「考え方」で考える社会保障法』成文堂、2015年 【参考書】加藤智章・菊池馨実・倉田聡・前田雅子『社会保障法 (第7版)』有斐閣アルマ、2019年 笠木映里・高さやか・中野妙子・渡邊絹子『社会保障法』有斐閣、2018年 久塚純一『「議事録」で読む社会保障の「法的姿」』成文堂、2017年			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 授業中のディスカッションへの参加度、及びその前提としての予習の度合いを重視する。 ○評定の方法 日常の授業態度 50%、レポート 50%			
12. 受講生へのメッセージ	本科目で指定している教科書は、あくまで本科目の対象となる社会保障法領域を理解するきっかけとなるものである。学習のためには、様々な文献にあたって上で、自身の考えを整理・構築していく必要があるため、留意されたい。			
13. オフィスアワー	授業で通知する。			
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1. テーマ	法律から考える社会保障の「対象」			
【学習の目標】	どのような考え方に基づいて、各社会保障制度の「対象」が規定されているのかを理解する。			
【キーワード】	要介護状態 現物給付と現金給付 障害学生無年金訴訟 社会法			
【学習の課題】	社会保障給付として対応がなされるのは、どのような場合かを検討する。			
【学習する上での留意点】	教科書の第1部に関連している。			
2. テーマ	社会保障法の歴史的経緯			
【学習の目標】	日本の社会保障制度がどのような経緯で作られてきたかを理解する。			
【キーワード】	普遍化 医療保障 所得保障 社会保険 社会福祉			
【学習の課題】	現在の社会保障制度がどのような経緯で作られてきたかについて、「特殊なものの普遍化」をキーワードにして検討する。			
【学習する上での留意点】	教科書の第1部に関連している。			
3. テーマ	社会保障の「主体」と「単位」			
【学習の目標】	各社会保障制度で負担や給付の基礎となる「主体」や「単位」がどのように規定されているかを理解する。			
【キーワード】	年齢 性別 国籍 住所 個人 世帯			
【学習の課題】	社会保障給付の対象となる「単位」は、各制度でどのように規定されているかを検討する。			
【学習する上での留意点】	教科書の第2部に関連している。			
4. テーマ	社会保障の「負担」と「給付」			
【学習の目標】	各社会保障制度で「負担」と「給付」がどのように関連付けられているかを理解する。			
【キーワード】	被保険者 受給権者 連帯 分断			
【学習の課題】	各社会保障制度における「負担」と「給付」の関連について、比較検討する。			
【学習する上での留意点】	教科書の第2部に関連している。			
5. テーマ	「社会保険事故」と「社会保障事故」			
【学習の目標】	社会保険の対象となる「保険事故」とはどのようなものなのかを理解する。			
【キーワード】	社会的な出来事 保険事故 高額療養費 障害厚生年金			
【学習の課題】	「社会保険事故」と「社会保障事故」は、教科書でどのように区別されているかを検討する。			
【学習する上での留意点】	教科書の第3部に関連している。			
6. テーマ	社会保障給付が行われる「出来事」			
【学習の目標】	社会保障の対象となる「出来事」はどのように拡大されてきたかを理解する。			
【キーワード】	拡大 統合 抽象化 社会連帯 自己責任			
【学習の課題】	社会保障の対象となる「出来事」は、なぜ拡大されてきたかを検討する。			
【学習する上での留意点】	教科書の第3部に関連している。			
7. テーマ	社会保障の「給付」と「費用」			
【学習の目標】	「社会的給付」の特質とは何かを理解する。			
【キーワード】	社会的給付 強制性 社会連帯 入院時食事療養費			

	<p>【学習の課題】 「社会的給付」はどのように変容しているかを具体的な例を挙げて検討する。</p> <p>【学習する上での留意点】 教科書の第4部に関連している。</p>
8. テーマ	社会保障の「権利」と「義務」
	<p>【学習の目標】 社会保険料を滞納するとどのような措置がもたらされるかを理解する。</p> <p>【キーワード】 保険料 滞納 受給権 法的保護 租税 自己決定権</p> <p>【学習の課題】 各制度における給付の受給権に対する法的保護の違いについて、検討する。</p> <p>【学習する上での留意点】 教科書の第4部に関連している。</p>
9. テーマ	社会保障制度にかかわる行政
	<p>【学習の目標】 社会保障制度において、国、都道府県、市町村はどのような役割を果たしているかを理解する。</p> <p>【キーワード】 国 都道府県 市町村</p> <p>【学習の課題】 国、都道府県、市町村の「棲み分け」はどのような基準で行われているかを検討する。</p> <p>【学習する上での留意点】 教科書の第5部に関連している。</p>
10. テーマ	社会保障制度における「圏域」や「空間」
	<p>【学習の目標】 社会保障給付を受ける際の地域の違いについて理解する。</p> <p>【キーワード】 圏域 連帯 国際化 グローバル化</p> <p>【学習の課題】 「グローバル化する社会」に対して、社会保障制度がどのような対応をしているかを検討する。</p> <p>【学習する上での留意点】 教科書の第5部に関連している。</p>
11. テーマ	生活保護をめぐる議論
	<p>【学習の目標】 生活保護についての「不正確さを基盤とした言説」について検討する。</p> <p>【キーワード】 生活保護基準 補足性の原理 世帯単位の原則 自立の助長</p> <p>【学習の課題】 なぜ「不正確」と言えるのか、法律をもとに検討する。</p> <p>【学習する上での留意点】 教科書の第6部第1章に関連している。</p>
12. テーマ	年金保険をめぐる議論
	<p>【学習の目標】 教科書にある「払った分だけでもらえるか？」という考え方について、自分なりの回答を用意する。</p> <p>【キーワード】 社会保険 老齢年金 障害年金 遺族年金</p> <p>【学習の課題】 年金保険において「損得勘定」の議論がどれだけ適合するのか、検討する。</p> <p>【学習する上での留意点】 教科書の第6部第2章に関連している。</p>
13. テーマ	介護保険をめぐる議論
	<p>【学習の目標】 介護保険法が制定された経緯を踏まえ、介護保険の構造について理解する。</p> <p>【キーワード】 被保険者 予防給付 契約方式</p> <p>【学習の課題】 介護保険が制定され、高齢者福祉にどのような変化があったかを検討する。</p> <p>【学習する上での留意点】 教科書の第6部第3章に関連している。</p>
14. テーマ	高齢者の医療保障をめぐる議論
	<p>【学習の目標】 国民皆保険体制における高齢者の医療保障の位置づけについて理解する。</p> <p>【キーワード】 老人福祉法 国民皆保険体制 老人保健制度 後期高齢者医療制度</p> <p>【学習の課題】 高齢者の医療を確保に関する法律を制定した背景について、検討する。</p> <p>【学習する上での留意点】 教科書の第6部第4章に関連している。</p>
15. テーマ	まとめ 社会保障制度の持続可能性
	<p>【学習の目標】 社会保障制度の持続可能性について、どのような議論が行われているかを理解する。</p> <p>【キーワード】 議論の主体 議論の対象 議論のツール 議論の構造</p> <p>【学習の課題】 社会保障制度の持続可能性の議論について、4つのキーワードをもとに検討する。</p> <p>【学習する上での留意点】 教科書の第6部第5章に関連している。</p>